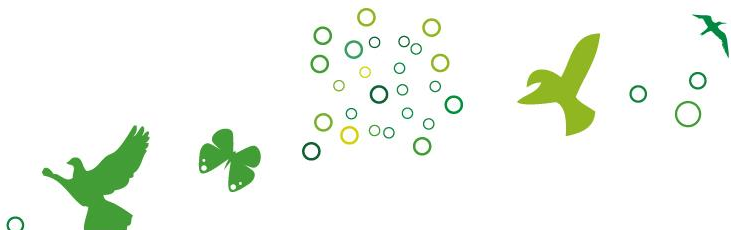




Japan Environmental Management  
Association For Industry



# JEMAI環境ラベル (エコリーフ/カーボンフットプリント) 削減マークの検討について

一般社団法人産業環境管理協会

Copyright(C)2013 JEMAI All Rights Reserved



# エコリーフ/カーボンフットプリントとは

ライフサイクルアセスメント(LCA)の手法を用いて、製品やサービスの原料調達から廃棄・リサイクルされるまでの環境影響を定量的に把握し、情報公開する2つの定量型環境ラベルプログラムです。

原材料調達

生産

流通

使用・  
維持管理

廃棄・  
リサイクル

すべてのプロセスの環境影響を定量的に把握

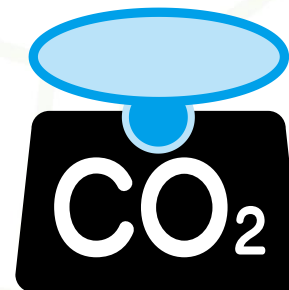
エコリーフ(EL)

地球温暖化、資源枯渇  
酸性化 ……他  
多領域の環境影響を評価



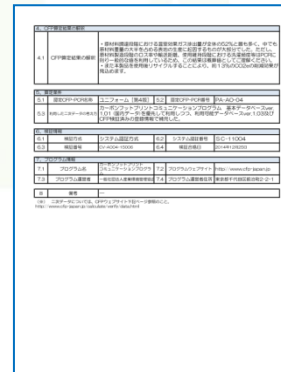
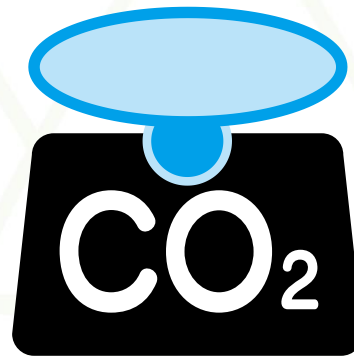
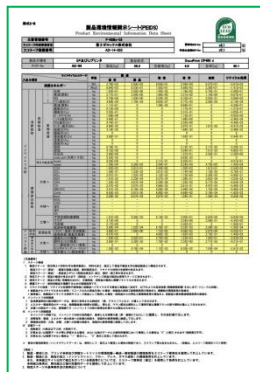
カーボンフットプリント(CFP)

地球温暖化(CO<sub>2</sub>)に  
特化して環境影響を評価



# 現状のエコリーフ/カーボンフットプリントの情報開示

エコリーフ、カーボンフットプリントの情報開示の仕方は、マーク表示と数値等の説明が記載されたラベル(登録情報シート)です。

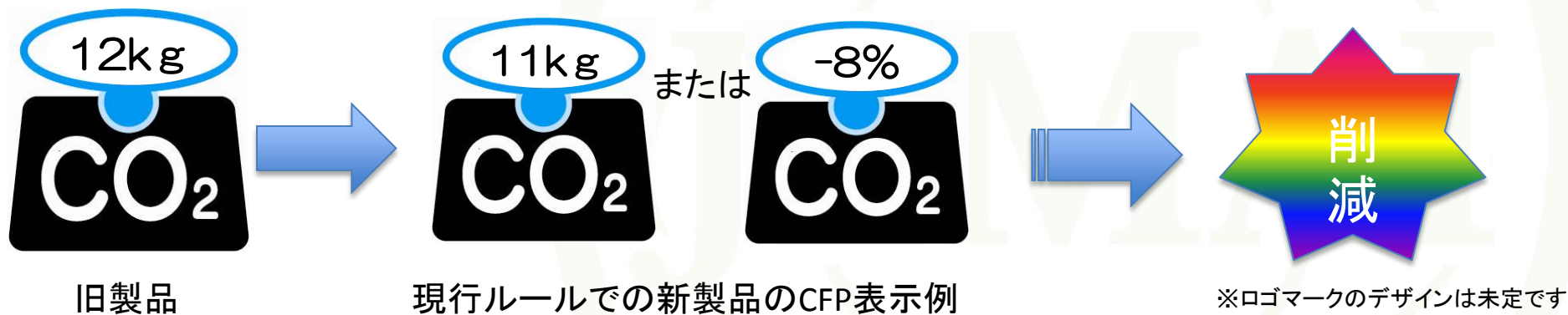


環境に配慮しているかどうかは、データを読む側の、購買者や消費者の判断に任せられます。このためエコリーフ/カーボンフットプリントのラベル・マーク表示は、**その商品が「環境によい」ことを示すものではありません。**

# 「削減マーク」の検討

同一企業内の新旧製品や、業界平均からの比較などにより、一定の削減効果が確認できる製品について、「削減マーク」の使用を認めることを検討しています。(認定基準は今後検討します)

【例】過去の製品の排出量が12kg-CO<sub>2</sub>だった製品が、削減努力により11kg-CO<sub>2</sub>になった場合



※現状でもCFPマークでは「-〇%」という形で削減をアピールすることが可能です。エコリーフは数値表示がないため、表記は新旧、削減の有無にかかわらず、同じ表示となります。

「削減しました」を示す別のマーク

「削減マーク」=「環境によい」としてアピールができます

# 想定されるメリット／デメリット・課題

削減マークをすることによって、様々なメリット／デメリットや課題などが考えられ、慎重な検討を行っています。

## メリット、賛成意見の例

- ・「環境配慮製品」であることが一目でわかる。
- ・読み手の判断ではなく、事業者側から「環境によい」と言える。
- ・細かい数値や算定の話をしなくても「削減した」ことが伝えられる。
- ・ライフサイクルでは、企業努力で削減できる数値・比率は小さいので、数値ではなく下がったという事実を認めてもらえる方がよい。

## デメリット・課題、反対意見の例

- ・これ以上環境ラベルを増やすべきでない。たくさんありすぎてわからない。
- ・認知度の低いマークでは理解されない。
- ・少ししか削減しなくても同じマークが使えるなら、どのくらい削減できたのかがわからない。
- ・「削減された」ことの評価が技術的に難しい。

# アンケートご協力をお願い

- 皆様のそれぞれの立場から、「削減マーク」についてどのように考えるかを教えてください。

▼アンケートはこちらから

<https://jp.research.net/s/reductionmark>

アンケートの回答期間: 2015年2月6日(金)17:00 まで



ご協力お願いいたします

